



学塾通信 11月号 (第119回)

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

11月3日(木)・23日(水)は祝日ですが授業があります。
11月29日(火)・30日(水)は授業調整日です。通常授業はありません。

今年の4月から2年生に10分テストを実施しています。「大変や」「何で毎週せなあかんねん!」「10分で終わらない」など、特に男の子は文句が多いのですが、半年が経過した今、嬉しいことにこちらの予想以上の成果が出ているようです。毎回授業後に残って頑張れるようになったこと。講師も生徒たちの頑張りに応えようと、付き添って指導をしてします。まだまだ保護者様にご納得いただけるような学力のレベルまでは達してはませんが、確実に英単語の知識は増えていきますし、覚えるスピードも速くなってきています。10分テストを開始してよかったと思っています。

そこで次に、10分テストを幅広い学年で実施をできないかということを考えています。現在、中学3年生には毎月の課題テストを実施しており、すでに5回が終了していますが、1ヵ月スパンのテストでは間隔が空きすぎていることが気になっています。

幅広い学年で取り組むことの問題点は、私一人では回らないということです。

現在は週の初めに私が問題を印刷し、それぞれの生徒の個別ファイルに挟み込み、生徒は授業の際に担当講師からプリントを受け取り、授業後に覚えてテストをする準備をする。準備が整えば私にテスト用のプリントをもらいテストを実施。私の採点を受け、合格点であれば終了。という流れです。

正直なところ、中学2年生に実施をするだけでもなかなか大変です。これを1年生・3年生にも広げるにはどうしたら良いのか。

考えた結果、アプリの導入を検討しています。

まずは9月26日(月)から2週間、9名の中学2年生の協力を得て試用し、来年以降の指導に加えられるかどうかを判断していきます。一部の方には案内文を配布しました。今後、さらに多くの塾生が参加できる仕組みづくりと一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



○塾代助成カード利用者の方へ

秋にパスワードの変更があります。新しいパスワードが届きましたら、助成カードと一緒に教室にお持ちください。カードを処理する際に、新しいパスワードが必要になります。

☆小学生☆

小学生の6年間で身につけたことが、中学生以降に大きく関わってきます。

私も色々な場所で繰り返し述べていることですが、一番重要だと考えていることは「学習習慣」です。中学生以降に学力が伸びる生徒に共通することは、学習習慣があることです。小学校の間に難易度の高いことをしていたということではなく、学校の宿題以外で学ぶ習慣があるのです。

小学校1・2年生の間は、宿題や時間割、持ち物についてもある程度、親が管理をしてあげる必要があります。できれば学校の授業でどんな風にノートをとっているのか毎日見てあげることが大切です。すでに塾に行っている生徒は塾の宿題を、そうでないお子様は学校の問題集以外のテキストで算数・国語(読解・漢字)に取り組む日を決めてください。(少なくとも週1回は実施したいです。)

取り組みは必ず日を決めて行ってください。例として、取り組む曜日を決めておくといいでしょう。学校行事等で予定が変わった場合でも日を変えて必ず実施します。

☆中学受験生☆

最初に「合格の先を見据えて勉強をする。」ということをお伝えおきます。

私立中学は、どこの学校であっても公立中学より授業数が多く進度も速いです。受験勉強を通してしっかりした学習習慣をつくっておかないと、入学してから困ることになります。

合格、入学という目的を達成した後も次の目標を設定して再始動するぐらいのイメージを持っておきましょう。特に重要なのは受験勉強をしていない科目です。社会・英語などの科目も基本的な知識をもって新生活を迎えたいです。受験の全日程を終え進学先が決まった後は、時間があるうちに入学後に向けて準備をしていきましょう。

中学受験統一日まで3ヵ月を切りました。多くの学校で11月にプレテストを実施します。プレテストの受験は得ることがたくさんあります。受験する可能性がある学校のプレテストは必ず受けるようにしてください。

5年生のみなさんが土曜日の自主学習にも積極的に参加し意欲的に頑張っているのが嬉しいです。わからない問題に付箋をつけて質問をしにくるようなスタンスで勉強をしている人もいます。とても良い方法ですので、他の人もぜひ真似をしてください。加えて、間違えた問題に✓などの印をつけ、後日やり直しをしてそれができたら○をつける。このようにすれば、復習もしやすいのでさらに良いと思います。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト(5年生・6年生)

10月23日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

☆中学1・2年生☆

○中学1年生 テスト対策につて

夏休み以降に入塾をしてくれた塾生のみなさんにとっては、初めてのテスト対策でした。

早朝学習会・テスト前学習会と朝から、もしくは長時間の勉強の機会になりましたが、やってみてどうでしたか？ここからが大切です。定期テストに向けて自分の成果が出る形をつくっていきます。

具体的には各種講座を受講する目的を明確にすることです。

例えば、テスト2週間前にはワークのわからないところを教えてもらいたい、早朝学習会では毎日計算練習をして早く正確に計算をすることができるようになりたい、などです。

そうすることでテスト勉強の質を高めることができるようになります。

○中学2年生 受講科目の調整について

現在1科目で受講していただいている方について(英語のみ・数学のみなど)

3年生(高校受験生)では、入学試験に向けた準備のために複数教科の受講をお願いしています。他で英語を勉強しているなど、特別な理由があれば別ですが、原則、英語・数学は塾で指導させていただきたいと考えています。3年生の12月から実施する直前特訓ではそれぞれが受験をする予定の学校の入試問題を解きます。その際に未習單元があると、問題を解くことができません。

学校の授業進度に合わせていると1月半ばに教科書の内容が終わるため、それ以降の対策が不十分なまま入学試験の日を迎えることとなります。

このような理由から3年生では主要科目については原則受講をしていただくという方針で進めています。

ご理解のほどよろしくお願いいたします。

☆高校受験生☆

○過去問の実施について

学校説明会などで昨年度の入試問題(過去問)を配布してくれる学校もあります。解いてみたい気持ちもわかりますが、12月以降に計画的に解いていくのでもう少し待ってください。(教科によっては未習の学習内容もあります。)

○併願校について

「私立に行くつもりが無いので私立の受験校はどこでも良いです。」「私立は見に行くつもりもないです。」ということを目にすることがあります。

もちろん第一志望校合格に向けて頑張るつもりなのでしょうが、それはみんな同じです。合格する人もいれば残念な結果になる人もいます。受験結果の良し悪しは、実際のところ長い目で見なければわかりませんが、進学先は合格した学校から選ばなければいけません。

模試のA判定でさえ「5人中4人は合格します」という基準です。

ですから併願校であっても学校説明会には参加しておくことをお勧めします。

いよいよ受験校を具体的に検討する時期です。ここからのラストスパートでしっかり仕上げていきましょう。

高校受験生のみなさんには受験勉強部への入部を勧めます。活動内容は、学校帰りに塾に寄り自習をし、帰ってから再び通塾して授業・自習をして過ごす。誘惑を断ち切り、受験勉強を生活の中心に据えましょう。入試までの残り期間、これまで以上に真剣に受験勉強に向き合ってください。「ちょっとできるようになってるやん」と感じる瞬間が来れば、そこから先はどんどん伸びるでしょう。

○保護者様からの質問にお答えします。

保護者様から「ギリギリで合格した場合、進学後の授業についていけるのでしょうか?」という質問をいただきました。私は「合格した以上ついていく力はある。」と思います。ただし、ギリギリで合格した人は、入学後も受験勉強で行っていたような学習習慣を続けることができなければ、ついていけなくなります。逆に学習が習慣化できていればしっかりついていけますし、上位にも入っていくことができるでしょう。

受験合格はあくまでも新たなスタートで、その先にはもうひとつ上のレベルが求められる日々が待っているということを理解した上で、目の前の受験勉強に励むことが大切です。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト

11月13日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

11月が一番受験者が多い回です。普段は自塾で模試を行っている塾でも、この回は五ツ木を受験させます。私たちも9月からの勉強は11月の試験に向けて準備をしてきたと言っても過言ではありません。ここでの結果を見つつ、最終的な志望校を考えていくことができると考えています。

○塾長講座の予定

10月の塾長講座の予定

10月22日(土)

13時30分～19時00分

塾長講座について

1月から実施してきた塾長講座は11月が最終回となるため、残り2回です。
12月以降の塾長講座は入試直前特訓に移行し、入試に向けた最終確認・実践演習を行います。

☆高校生☆

11月は公募推薦入試が行われます。受験生のみなさん頑張ってください。

大学受験生だけでなく、全受験生(中学受験生・高校受験生)に当てはまることですが、ほとんどの人が解くことができないような難問ではなく、正解すべき問題を確実に正解することが合格への近道です。私立大学受験と高校受験・中学受験との大きな違いは受験回数です。私立大学受験にはとても多くの受験機会や受験方式があります。可能であればできる限りの受験機会を利用してください。一般的にチャレンジ校・実力相応校・滑り止めという受験校選択になります。1月末からの一般入試の時期に入ると連戦が続きます。入試シーズンが本格化するまえに、受験を予定しているすべての学校の最低1年分の入試問題に目を通しておきましょう。

大学受験は最後の最後まで粘ることで、合格の可能性が大きくなります。
自分の気持ちとの勝負です。

たくさんの方をご紹介いただき、誠にありがとうございます。
塾を探している方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

【高1～3】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了
【高校受験 中1】	3～4名
【中学受験 小6】	若干名
【中学受験 小5】	若干名
【中学受験 小4】	若干名
【非受験 小学生】	若干名

学塾【URL】 <https://gakujoyuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujoyuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujoyuku/>